# 魚津市新庁舎整備検討委員会 第1回会議 会議録(要旨)

#### 【開催状況】

- 1 開催日時 令和4年10月20日(木)14:00~16:00
- 2 開催場所 魚津市役所4階 第1・第2委員会室
- 3 出席者
  - (1)委員

石川委員、浦田委員、大島委員、大野委員、木下委員、清水委員、野澤委員、鍼田委員、 平田委員、松岡委員、山本委員、米澤委員 (欠席)中才委員

(2)市

市長、副市長、総務部長、財政課長ほか事務局員

### 【関連資料】

- ○資料No.1 新庁舎整備に係る検討体制・スケジュール
- ○資料№2 現庁舎の概要・整備事業費の想定等
- ○資料№3 県内外の視察状況報告
- ○資料№4 新庁舎整備に向けた「基本理念・基本方針」の検討
- ○資料№.5 整備場所の選定方針

## 【会議内容】

- 1 開会
- 2 委嘱状交付・委員紹介
- 3 市長あいさつ

(要旨) 委員をお引き受けいただき感謝申し上げます。

旧庁舎は大町地区の新宿に下新川郡議会の議事堂として建設され、昭和2年に魚津町が県からその建物を借りるという形で庁舎として利用しました。その後、昭和27年に町村合併で魚津市が誕生しました時に、その建物を引き続き庁舎として利用したという歴史があります。

現庁舎は昭和 41 年8月からの2か年の事業で建設されました。当時の建設費は約2 億2,500 万円で、当時の予算規模の 1/4 を充てる事業であったわけですが、現在庁舎を建てる時も予算規模に対して同じような割合、あるいはそれ以上の事業費が必要になります。そういった意味では、魚津市にとって、まさに世紀の大事業ということになるわけです。

それほどの大プロジェクトということで、委員の皆様には、基本的な考え方ですとか、 求められる機能、市民にとってどういう庁舎であるべきかなどをテーマに、忌憚のない ご意見をいただきながら、考えていきたいという強い思いを持っております。

よろしくお願いいたします。

# 4 会長選任

清水委員が会長に選任、会長あいさつ

### (要旨)

事務局としっかり協力し合って、会議進行及びとりまとめを精一杯させていただこう と思っております。よろしくお願い申し上げます。

設置要綱にありますように、新庁舎整備に関して協議を行い、市長に対して我々の 意見をしっかりお伝えするため、委員皆様一人ひとりからご意見をいただきますよう、 どうぞよろしくお願いいたします。

### 5 議題

- (1) スケジュール、現庁舎の概要等について
  - ①新庁舎整備に係る検討体制・スケジュールについて
  - ②現庁舎の概要・整備事業費の想定等について
  - ③県内外の視察状況報告について
- (2) 新庁舎整備に向けた「基本理念・基本方針」の検討について
- (3)整備場所の選定方針について
- 6 次回の会議日程
- 7 閉会

# 【以下、質疑、意見等】

<u>委員</u> 庁舎の中で働く職員数によって規模が決まると思っていた。各市の正職員数と延床面積にバラツキがあるようだが、魚津市の正職員数を考えた場合に 10,000 ㎡という想定は妥当なものであるか、考えをお聞かせいただきたい。

事務局 正規職員の全体数を記載しているので、単純比較できるものに現時点ではなっていない。今後庁舎の規模を検討していく際に、職員数を精査して規模を検討していく。

<u>市</u> 長 働き方の変化、執務環境、災害時対応、将来負担などトータルで考えるべきであり、これまでの庁舎整備の考え方にとらわれる必要はないと考えている。財政シミュレーションは次回お示しするが、必ずしもそこにはこだわらず、自由にご発言いただきたい。

委員 出費をどこで抑えるか検討すべき。例えば負担の大きい施設を県に渡すなどできないか。新庁舎整備は計画的に進めればよいと思うが、市全体の運営を考えて大きな視点で進めてもらいたい。人口減少社会なのでコンパクトにしていくという話は重要だと思う。 市長 庁舎に限らず、全体的な行政運営や施設のあり方はしっかり検討していきたい。 財政視点の問題は次回色々な資料を示しながら議論できるようにしたい。

委員 今回の事業計画は魚津市がよい意味で変化することができる、半世紀に一度の絶好のチャンスと受け止めている。外向けに主張していくことと、市民に対するサービスのあり方に対することの大きく2点に分かれると思うが、時代を考慮しゼロベースで機能、職員数、スペースの検討をお願いしたい。一方で市庁舎は規模の大小は別にして大きなシンボルといえる。個性的なものや近代建築である必要も場合によってはないかもしれないが、シンボルとしてより愛される意匠・デザインを明確に検討いただきたい。

委員 新しい働き方を踏まえたコンパクトな庁舎にしていただきたい。例えば、立派な建物を建てたが市町村合併などで使用しなくなるのは無駄である。コンパクトなものにして中身を充実していただきたい。若者がキーワードと思っている。魚津市は子どもが大きくなって遊ぶところがない。魚津市がつまらないところと思いながら暮らして、市から出ていって帰ってこないということがあると思っている。例えば新庁舎の中にデジタルラボを設置して子どもたちの遊び場になってくれたらいいと思う。小学校高学年になると子どもたちはデジタルを求めているし、取り入れていく必要があると思う。デジタル面も考えてほしい。

<u>委</u> <u>員</u> 新庁舎のあり方としては従来の考え方で施設規模を想定すべきでない。働き方が大きく変わるこの先 10 年を見定めて計画を立てるべき。市民サービスが変わっていくのも含めて I T化・デジタル化を検討してほしい。

<u>委</u> <u>員</u> 近隣のホテルを災害時の避難所として使用する、市役所前公園を結婚式挙式で使用するなど、民間と連携して Win-Win の関係を持てたらよいと思う。市民に開かれた庁舎であればよいと思う。

委員 市民にとって親しみやすい市役所が一番だと思う。市役所はシンボルであり市民を中心とした施設になってもらいたい。現在の庁舎は防災に関しては弱い。防災拠点となり、市民が少しでも安心できる庁舎にしてほしい。

<u>委</u> <u>員</u> 市民に親しまれる庁舎にしなければならないことは当然と思う。財政問題は次の 委員会で具体的に示していただきたい。場所の問題だが、概ね市有地で建てたいという案の ように思うが、民間事業所の跡地や総合体育館の跡地を検討した上でのことなのか、そうい ったことも今後お聞かせいただけるとありがたい。

委 員 新庁舎整備が半世紀に一度のチャンスというのはそのとおりだと思う。他の市の 真似ではチャンスは活かせない。他市の事例をたたき台として、削ったり新しいものを加え たりしてより素晴らしいものを検討いただきたい。未来あるもの、防災、最先端技術など、 検討事項はたくさんあると思うが、優先順位をつけて議論していくことがこれから必要と 感じる。

委 員 場所や基本理念は行政が自分たちよりもよくわかっていると思うので、現時点では それに対する特段の意見はない。市職員と仕事面で関わることも多いが、いわゆるお役所 仕事と感じることがある。働いている人もレベルアップすることが大事。財政負担が問題と 思ったが、次回内容を見ながら意見させていただきたい。

| 今日市役所に来た時に思ったことは、まず市役所に入ったときの圧迫感。よく見ると、どうやら紙が多い。これでは災害時に情報が失われるのではないか。業務効率化のためにもできる限りデータ化すればよいと思う。DX 化の観点からも、コンパクトな庁舎を作るうえでものをもたない、そうした庁舎ができればよい。空間を調整できる機能があると今後よりよいものになると思う。例えば非常事態災害時に一定の場所を区切ってフェーズフリーにすれば、緊急の場所として空間を生み出すことができる。市役所に来ることはあまりないが、来る前にある程度申請書の記入を済ませられるなど、そういったことができれば、窓口での説明で苦労している方の負担も減るのではないか。

委 員 理念や方針の検討は今後の会議でも出てくると思うが、SDGs の観点から、50 年 100 年で使用不可能になるような建物を建てないでほしい。そのためにはシンプルでメンテナンスがしやすい建物が必要。また、省エネと空調も大事な要素と思っている。市役所前公園は熟成されており、良い公園なので取り壊さないでほしい。

<u>委員</u> 市庁舎はコミュニティセンターの総本山と思っている。次世代を担う子どもたちが地域社会の宝であることは共通認識と思う。魚津市の将来を考え、将来を担う人材育成につながる機能を新庁舎にも持たせてもらいたい。人口減少で税収減や高齢者の増加が進み、医療制度、年金制度がどうなるかわからない中で市行政がますます重視される時に、夢を持つために子供たちに期待し人への投資をぜひ行っていただきたい。

事務局 委員の皆さんからいただいた意見をもとに事務局案を作り基本理念を提示させていただきたい。整備場所については、公園の話なども出たが、事業費の関係もある。財政の問題も色々ご意見をいただいたので、そういったことも踏まえ、まずは市有地という形で候補地を検討し、メリット・デメリットを第2回会議でお示しできるようにしたい。

市 長 基本理念にこだわったのはどういう夢を描いていくかが大事だと思っているためである。これから 10 年 20 年先を見据えてイメージを作っていくにあたり、意見をいただけて良かったと思う。補足であるが、次回検討するための基礎的な材料はお示ししたい。例えば職員数や用地の課題は事前にお示ししたほうが、議論がスムーズになると思うので、できるだけそうしていきたい。

以上

# 魚津市新庁舎整備検討委員会 第2回会議 会議録(要旨)

#### 【開催状況】

- 1 開催日時 令和4年11月22日(火)13:30~15:40
- 2 開催場所 魚津市役所 2階 第1会議室
- 3 出席者
  - (1)委員

石川委員、浦田委員、大島委員、大野委員、木下委員、清水委員(会長)、中才委員、 野澤委員、鍼田委員、山本委員、米澤委員

(欠席) 平田委員、松岡委員

(2) 市

副市長、総務部長、財政課長ほか事務局員

### 【関連資料】

- ○資料No.1 中期財政計画を踏まえた新庁舎整備の財源見通しについて
- ○資料№2 新庁舎整備に向けた「基本理念・基本方針」の検討について
- ○資料№3 新庁舎整備候補地について

### 【会議内容】

- 1 開会
- 2 議題
  - (1) 中期財政計画を踏まえた新庁舎整備の財源見通しについて
  - (2) 新庁舎整備に向けた「基本理念・基本方針」の検討について
  - (3) 新庁舎整備候補地について
- 3 次回の会議日程
- 4 閉会

## 【以下、質疑、意見等】

(以下、主として資料No.1 に関連した質疑、意見等)

季 員 新庁舎の面積について、1万㎡でそのまま進めていくのか、想定事業費(70億円)の中での整備を想定しているのか。事業費の想定が甘い気がしている。建築資材は高騰しているので、この金額でいけるか不安を感じる。

事務局 1万㎡は本庁舎、第1・第2分庁舎、健康センターを現状の面積のまま統合した場合の面積であり、市役所の機能として必要となる面積の最大値と考えている。これから必要な機能を考えた上で必要な面積に絞っていく。民間施設等と複合化した場合には当然面積は大きくなるが、増加する分の財源の手当ては別途検討していく必要がある。建設単価の高騰は懸念しているところであり、今後実勢価格を見ながら精査し、最終的な事業規模を確定させたい。

副市長 ご指摘の通り、建設費は建設単価に左右される。この面積は現時点のものであり、 窓口のデジタル化、DX化やテレワーク化などが想定されていない。今後そういったものを 踏まえた上で、どれだけの面積が必要か検討していきたい。

<u>委</u> <u>員</u> 償還額が約 2.8 億円とのことだが、人口減少が進む中でそうしたペースで償還できるのか。行政サービスを削ることになるのではないか。市税が増えると見込んでいるのか。

事務局 市税については人口減少に伴って今後減少する一方、全額ではないものの、市税減 を地方交付税で補填されることを見込んで計画を立てている。

<u>副市長</u> 市税は下がるが地方交付税があるため急激に市の歳入が減少するわけではない。今後必要となる経費も踏まえた返済計画を立てている。ただ、不測の事態で多額の経費が必要になる場合に備えて、できるだけ多くの金額を積み立てたいし、建設費も縮減したいと考えている。

**委員** 将来的な職員の削減目標はどの辺に置いているか。

<u>副市長</u> 人口の減少に合わせて、職員数を人口 100 人に 1 人にするという考え方もあるが、 直近では働き方改革などで少し増えたりすることもある。

**委員** 支出削減に向けて考えている方策はあるか。

<u>副市長</u> 公共施設の総量抑制に向けた取り組みにより、物件費を圧縮して成果も出てきている。今後更に進めていきたい。

<u>委</u> <u>員</u> 70 億円の予算に反対しているわけではない。削るところは削る、市民サービスはなるべく維持するという観点で取組みを進めていただきたい。

会 長 市として財政の見通しは立っているとのことだが、今後の資材単価の値上がりも想 定し、節約や財源確保をお願いしたい。

委 員 毎年2億円を積み立てるのは簡単なのか、難しいのか。

事務局 厳しい財政状況の中、健全化を進めながら財政調整基金に2億円をこれまで積み立てて来た経緯がある。2億円は現実的な金額と見込んでいるが、できれば2億円以上を積み立てていきたい。

**|委 員 償還額が3億円弱となったときの返済の見通しはどうなっているのか。** 

事務局 令和8年度までは建設費の頭金に相当する20億円を積み立てる。令和9年度以降は2億円程度を減債基金に積み立てていく。令和15年度以降の償還は減債基金で対応できると考えている。令和15年度以降も積み立てを続けていきたいと今のところは考えている。

委 員 水族館もかなり老朽化している。他にも施設がたくさんあると思うが、それらに要する経費はどう考えているか。

<u>副市長</u> 水族館や埋没林博物館などの維持は大きな問題だが、現時点では維持していくこととしている。更新のタイミングはかなり後となるが、市の負担が大きくならないような形で維持を図りたいと考えている。市だけで整備するのか、民間や他の機関の力を活用するのか、どういった方向で整備するかは知恵を絞る必要がある。先ほども言った通り、積立ては積極的に行っていく。いろいろな努力をこれから更にしていく必要があると思っているので、皆

様のご意見をしっかり反映し、心構えをしっかり持って進めていきたい。

<u>委員</u> 現時点では財政の見通しを具体的に詰めていないとのことだが、次回の会議までに実装的なプランが提示されるのか。借入金について、一定期間で償還していく計画とのことだが、資料2では今後の人口減少が示されている。市税の減収分は地方交付税で補えるという話があったが、地方交付税が今後どうなっていくか不透明な点もあると思うので、十分にリスクを考慮して、安全な計画の立案をお願いしたい。もう一つ、20年後の予算規模というのはどの程度を想定しているのか。

事務局 来年3月の時点で、基本方針・基本理念と整備場所をいったんとりまとめた上で、次年度からは本委員会で基本構想の作成について議論いただきたい。基本構想の中で、庁舎の規模や統合の話を検討していくことになり、そこがある程度見えてこないと事業費も見えてこない。そのため、より詳細な財政の見通しをお示しできるのは来年度以降になる。将来の予算規模を正確に読むことは難しいが、現在の標準財政規模(市税などの一般財源)は110億円ほどであり、償還の計画を維持できるように進めていきたい。

(以下、主として資料No.2に関連した意見、質疑等)

季 員 基本理念で、「人が集まる」ということがキーワードになっている。しかし、前回の会議であまり市役所に来ないと言っていた委員もいた。市民は、平日日中しか開いていない中でしぶしぶ市役所に来ているところがある。これからは、行かなくてもいい、行く必要がないほど便利になるということが求められるのではないか。そう考えると、わざわざ土地代の高い現在地に建てる必要性があるのか。例えば、片貝の方に建てて、現在地は商業施設にして経済を回すとか、そういうやり方で財源を確保することはできないか。10年後はさらにデジタル化・オンライン化が進んでいると思うので、土地代の高い現在地ではなく、郊外に建てるのも一つではないか。また、人を集めるという点でいえば、市役所と水族館を複合化すれば集客が図れるのではないか。いずれにしても、現在地にこだわってほしくはない。

事務局 市の方針としては、魚津駅を中心とした立地適正化計画があり、駅を中心とした一定の区域に施設や人口が集まってくるような施策を展開している。市役所も計画の一部に位置付けられ、人が集まるという点で一定の役割を果たすと考えている。また、災害時に集まれる場所、災害対策本部といった防災の面からも、中心市街地での整備を考えている。

水族館との複合化の案が出たこともあるが、建設方法や将来的な水漏れの心配など、様々な懸念があり現実的には難しい。水族館のような集客施設については、民間と協力して建設する手法も含め、今後幅広に検討していくことが必要だと考えている。

委 員 市街地の活性化であれば、商業施設にした方がよほど活性化すると思う。また、駅 周辺を活性化したいというのは分かるが、そもそも住民は駅をあまり利用しない。幹線道路 沿いを活性化した方が市民のためになるような気がしていて、駅周辺を活性化したいという のは、行政の一方的な思いという感じがする。

<u>副市長</u> これから公共交通の重要性が増す中、ある程度は駅周辺に機能集約したほうが有効と考えている。いずれにしてもトータルで考えていく。できるだけ商業的な面も盛り込んで

いきたい。

季 員 開かれた市役所という観点と、事務効率の面とのバランスを図るべき。窓口はオープンのほうがいいと思うが、事務作業を集中して行うには個室のほうがよい。機密保持のこともあるので、全部をオープンにすべきではない。先ほど委員から商業施設の意見があったが、1階は民間に貸し出すなどを考えたほうがよい。駅周辺には日中食事するところが少ないので、新庁舎整備を機会に民間の力を借りながら検討されたほうがよい。

デジタル化、DX化について、方向性はいいと思うが、現実にサイバー攻撃のような事案 も生じている。建て替えの際は、システムダウンなど万が一の可能性も踏まえて検討される のがよいと思う。

季 員 基本理念について、そもそも市役所は何のための建物かと考えてみると、個人的には職員の働く場、そして災害時の拠点という2点が大きいと思っている。その点は押さえつつ、プラスアルファで、商業施設やサービスといったものを加えていけばいいのではないかと考えている。基本理念のB案に「新しい時代に応える」とあるが、そういった将来を見据えた施設であってほしいという思いがある。

委員 まず、資料1について意見を述べさせてもらいたい。予算の組み方はしっかりされていると思うが、魚津には合計13の地域がある。今後、地域への予算の削減、締め付けはやめてもらいたいと思う。庁舎建設は大きな事業であり、当然財政も厳しいと思うが、各地域も厳しい。人口の減っているところは見捨てるというような考えでいくと、地域の方でも反発を受けると思う。財政が厳しい中でも、やはり市と地域の協力関係があって市政が成り立っているということはしっかり考えてもらいたい。

基本理念案についてはどれもよいと思うが、C案は人が集まりそうな感じがあってよい。 私自身、市役所は堅いところ、難しいところ、行きにくいところという感じが頭の中にあった。今後は市民と親しみを持ちながら一緒にやっていくという姿勢であってほしい。また、現在市役所には一日何人の来庁者がいるのか。それは参考に知りたかった。

人口減少について、市役所は何とかしようという動きは考えているのか。簡単な問題ではないと思うが、人口を増やすための努力も大事なことである。人口が減れば減るほど市民一人ひとりの負担が大きくなってくると思うので、そういったことも考えてもらいたい。

委 <u>員</u> 先程の話にもあったが、将来、市役所に足を運ぶ必要のある人はほとんどいないという時代になるかもしれないし、一方で、どうしても市役所に来なければいけないという人がいるかもしれない。そう考えると、将来の予測というのはそう簡単にはできないと思う。基本方針については、A案でお願いできないかと思う。質問だが、基本理念については、今日この場で全てを承認して決めるということなのか。

事務局 基本理念と基本方針については、この委員会で決めていただけないかと思っている。 この委員会で報告書を取りまとめ、市長に提出するという流れになる。

|逶 | 員 | 了解した。私の思いとすれば、コロナがもう少し収まれば、市長のタウンミーティ

ングをもう少し積極的に実施してもらいたい。地域振興会にやりたいということを伝えれば、 皆さん出席されると思う。一昨年に実施したような市全体でのタウンミーティングではなく、 それぞれの地区ごとに行うという方向性が必要だと思う。

<u>季</u> 員 まず、財政の見通しについて聞きたい。建設費について、資料にある 70 億を上限として考えているのか。例えば、人口が減って収入が無いというようなことが生じたらどうするのか。

事務局 現状では、70 億円という想定で財政計画を立てており、そこから規模が増えると、計画が厳しくなることは考えられる。そのため、規模をできるだけコンパクトにして事業費を抑える、また、人口減など将来を見据えて見通しを考えていく必要がある。現時点で詳細な見通しは示せないが、今後詳細な検討を踏まえて事業規模を示し、委員の承認を得て、新庁舎の建設を進めていくものと考えている。

季 員 そのような話を聞くと、財政見通しについては、今日説明しても意味がないのではないか、時間の無駄だと思って聞いていた。詳細なことは決まっておらず、何のために意見するのかよく分からないと思い、確認のため質問した。

基本理念に関しては、A案でよいと思う。人が集まる、集まらないという話をされたが、 市役所に人を集めないといけないのか。例えば、図書館で住民票が発行できるように、市役 所でしかできないことを他の場所でもできるように進めていけばよいと思う。市庁舎をそこ まで大きくして、予算を使う必要もないと思う。基本方針に示されている、市のシンボルと なる庁舎デザインなど、そういったものもいらないのではないか。実用的な部分を取りまと めたような庁舎にすればいいと思っており、ちょっとしたお洒落にお金をかけることは必要 ないと思う。

委 員 私はよく市役所に行く立場であり、住民の一人ひとりを守っていくためには、市役所はなくてはならない場所だと思う。人口が減少し、子供も減る一方なので、将来どうやって支えていくのか、そういった視点にも踏み込んだうえで新庁舎整備を進めてもらいたい。例えば、数年前に学校の統合があったが、将来の子供たちのことを考えると、あの学校統合はよかったと思う。お金は使ったが、いずれそうならざるを得ない話だったし、将来子供たちが減り、苦しくなることを考えると、いち早くやってよかったと思う。そういうふうに、一つひとつのことを、この先5年、10年、20年と考えながらやってほしい。そのように願っている。

基本理念だが、A案がよい。他の案もよいが、安心安全を支えるという観点が含まれているのはA案である。新庁舎整備については、いかにして余計な金をかけないか、ここを基本にしてもらいたいと思っている。これは一番大事な話であり、私たちもいい加減な考えではいけないと思う。

<u>委</u> <u>員</u> 基本理念について、この中で選ぶとすればA案でお願いしたい。民間ではなかなかできない、安全を支えるといったメッセージがある。また、本市への誇りと愛着というもの

は、育てるというよりは、市と接していく中でできていくものであり、そうなればよいと思って選んだ。現代は不確実性の高い時代と言われており、将来は何が起こるか分からない。 そのため、庁舎の機能として、大きな変化があった時に用途をすぐに変えられる、オープンフロアでレイアウトをすぐに変更できる、そういった流動的な配置替えができるような庁舎になっているとよい。流動的にするためには、物を少なくしなければいけないし、物が少なければ、一部のスペースをテナントに貸し出すなど、そういったことも簡単になるのではないか。

また、人口が減っていく中、市役所の役割は変わってくると思う。例えば、大型ショッピングセンターの一部がコロナワクチンの接種会場になっていたり、ショッピングセンターで市役所のサービスを受けられるようになっていたりすると、それだけでも便利と思う方はいるだろう。もちろん、市役所にも夜間窓口はあるが、それに加えて、様々な場所でサービスを受けられるとよいのではないか。例えば、税務署の場合だと、オンラインで証明書を取得できて便利である。最近は郵送に日数がかかることも踏まえて、省力化できるところがないか考えてもらいたい。先程別の委員が言われたように、市役所に来庁している方の何割がどういった要件で訪れているのかということをカウントし、分析してみると、よりよいサービスを提供できるようになるのではないか。

委員 基本理念について、理念としてはどれも大切なことだが、シンプルでわかりやすいもの、理解されるものを選んだらいいと思っている。A案かB案かで、まだ決めきれていない。別の委員が言われるように、デジタル化はどんどん進めていかなければいけないし、それほど人が市庁舎に来るのかという疑問はあると思う。しかし、行政のサービスは、証明書を出したり、助成金を出したり、そういうことだけで済むのかという思いもある。やはり、人と人との触れ合いがないと、市として市民の安心安全を守る、やさしい庁舎にするということにはそぐわない。建物だけの市庁舎になっては困ると思っている。また、財政の問題が大切なことは分かるが、肝心要の市庁舎の話がちょっと置き去りにされていないかという気がする。私たちは、市庁舎を建てるためにはどうしたらいいのかということをしっかり考えていくべきだと思う。

会 長 私からも意見を述べさせてもらいたい。まずは、行政のほうで市民ニーズを把握してもらいたい。市民アンケートやタウンミーティングを実施し、市役所の基礎データの一環としてもらいたい。民間企業では、企業体力などと言われるが、よく測定がされており、経営者も真剣に把握していると思う。市の方でも、何のための市役所なのか、市民目線から洗い出してもらい、優先順位を付けたうえで達成していってもらいたい。総合戦略や総合計画をさらに一歩深掘りして、見直しを進めてもらいたい。また、今後の子供たちのためには、人と人との触れ合いは確保してもらいたいと思う。

委 員 A案がよいが、さらに短い言葉にしていただきたいと思う。

季 員 正直、どの案もそこまで変わらないかと思っている。A案は4つの基本方針のうち、3の要素だけが入っておらず、どうしてかと思う。繰り返しになるが、3のコンパクトな庁舎というのはかなり重要なことだと思うので、A案に3の要素も組み込んでほしい。

委員 今委員が言われたことについて、A案にコンパクトな庁舎という要素を入れると、 一つの理念にまとめるのが難しいという事情があったのだろう。A案で構わない。

委 員 A案がよい。

<u>会</u> 長 ほとんどの方がA案だったため、基本理念はA案で取りまとめることとしたい。 (委員一同 了承)

(以降、主として資料No.3に関連した意見、質疑等)

<u>委</u> <u>員</u> いろいろな考え方もあるかと思っているが、今現在の現実的な状況を考えると、A 案がベストだと思う。

<u>委</u> <u>員</u> A案がよいと思うが、敷地面積については、将来のことも考えてコンパクトに、必要最小限で最大限の効果が発揮できるようにお願いできればと思う。

<u>委</u> <u>員</u> いろいろなことを考えてA案をお願いしたいと思っている。魚津市は土地も少ない。 コンパクトなものをお願いしたい。

<u>委</u> <u>員</u> 私もやはり、A案と思っている。市庁舎部分はコンパクトにして、複合施設を一緒にするなど、市役所だけの用事で来るような場所にならないような、そういった面積の使い方としてもらいたい。

<u></u> **委** <u>員</u> まだ8年も9年も先の話であり、今の段階でどちらがよいというつもりはない。も う少し検討、あるいは具体的な方向を考えたうえで決めたいと思っており、態度は保留とさ せていただく。

<u>委</u> <u>員</u> A案でいいと思うが、他の委員からもあったようにすぐに決めるのもいかがかと思っている。

委 員 見たとおり、A案の方は条件がよいようであり、A案でお願いしたい。

委 員 A案でよい。

委 員 この会議は場所の選定が一丁目一番地と思っている。その選定にあたっては、集ま

りやすさとか目的とか、活性化策ということが非常に重要と思っている。今回は二者択一になっているが、この他の選択肢はあったのか。

事務局 この2か所以外では4か所を検討した。具体的には旧総合体育館・吉田グラウンド、大町小学校跡地、駅前地域での都市開発、駅との複合化を考えた。色々と検討した中で、市庁舎も古くなっているため、防災拠点や安全面を考えると、早期実現性を重視してA案・B案を提示した。

委 員 A案かB案かで言えばA案になると思う。他のところはどうだったのか。このままでは決められない。例えば魚津駅の上に建てて高層化するという案もある。もっとゼロベースで提示してもらいたい。

事務局 もともとは旧総合体育館・吉田グラウンドをC案として考えていた。しかしながら、 国道沿いで立地適正化エリアの範囲外となること、県警統合庁舎の誘致先となることを含め て、この場で提示することができなかった。

<u>季</u> <u>員</u> 場所を決めるのが早すぎる。もっとメリット、デメリットを深く掘り下げたほうがいい。50 年、100 年に一度のものを1ヶ月2か月で承認しろと言われても困る。他にどういった候補地があったのか、もっと議論したほうが市民にも説明しやすいのではないか。

事務局 駅との複合化の可能性については市の保有地でなく鉄道事業者の保有であるため、それぞれの会社の方針があり、なかなか市がお話できるようなことではないということ、更には鉄道との兼ね合いでどれだけの費用がかかるか全く読めないというようなことを踏まえて、庁内の検討会の中で案として挙げるところまではいかないものと整理したところである。大町小学校跡地は史跡ということで文化財の指定をしており、ほとんど建物を建てることができない場所であり新庁舎として使える面積は極めて限られる。そういった観点から同様に案として挙げられないものとして整理した。これまでの経過をご理解いただきたい。

委 員 A案かB案かならA案だが、市役所前公園はつぶしてほしくない。現在の公園のように緑豊かなものにするには時間がかかる。ホテルの景観にも影響する。コンパクトにしたり、高さを出したりすれば十分な敷地がある。

<u>事務局</u> 資料記載のとおり、公園をなくさないことを前提にしている。こちらの思いとしては、新庁舎と公園との融合を図りたい。

<u>委員</u> 断然A案がよろしい。いろいろ可能性はあるが、土地を新たに求めるコストと時間 を考慮すると、特段現在地で都合が悪くなければA案がよい。

委 員 A案で行くのであれば、借地をなくしたほうがよい。交渉されたほうがよい。

事務局 A案となった際には地権者の方に誠意をもって購入に向けた話を進めていきたい。

委 **員** 交渉には知恵と人脈が必要。ぜひ進めていただきたい。

会 長 事務局には整備候補地についてはA案B案を説明していただいた他、いくつも候補 地を事務局側で検討し、敷地の接点や接道、整備に関して問題があるかどうかなどを検討の 上、二つに絞っていただいたことをご理解されたい。皆様の意見を集約すると、保留の方も いるが基本的にはA案に賛同いただいたということなので、方向性としてはA案を基軸に報告書をつくっていくということで了承いただいてよいか。

(委員一同 了承)

以上

## 魚津市新庁舎整備検討委員会 第3回会議 会議録 (要旨)

#### 【開催状況】

- 1 開催日時 令和5年2月20日(月)14:00~15:45
- 2 開催場所 魚津市役所 2階 第1会議室
- 3 出席者
  - (1)委員

石川委員、浦田委員、大島委員、大野委員、木下委員、清水委員(会長)、野澤委員、 平田委員、松岡委員、山本委員、吉森委員、米澤委員

(2) 市

副市長、総務部長、財政課長ほか事務局員

## 【関連資料】

- ○資料№.1 魚津市新庁舎整備に係る基本理念と基本方針及び整備場所に関する検討報告書 (案)について
- ○資料№2 新庁舎整備事業 令和5年度事業予定について

## 【会議内容】

- 1 開会
- 2 委員の異動について
- 3 議題

魚津市新庁舎整備に係る基本理念と基本方針及び整備場所に関する検討報告書(案)に ついて

4 その他

新庁舎整備事業 令和5年度事業予定について

- 5 次回の会議日程ほか
- 6 閉会

### 【以下、質疑、意見等】

(以下、主として資料No.1に関連した質疑、意見等)

委員前回の会議では、現在地で建て替えることがベストだと申し上げた。その後、様々なことを考えていたが、最近では富山市の武道館建設が棚上げになった事例があった。それは、原材料費が高騰し、当初の設計が成立しなくなった状況だと聞いている。魚津市も、今後70億円という予算で行くのかどうか。これまでは、庁舎の新築という方針を前提に話してきた。前提をひっくり返すつもりはないが、財源を考えたときに、旧大町小学校を改築するという案は全く考える余地がないのか。グラウンドを掘り起こすことなく校舎を改築すれば、埋蔵文化財の発掘調査という懸念もなくなる。もともとは、現在の県総合庁舎の場所が市庁舎だった。近辺には検察庁や裁判所、法務局もあるので、周辺一帯で官庁街といった取扱い

もできる。旧大町小学校の改築であれば、財源も予定の半分ほどでできるのではないか。ただ、使い勝手で言うと、旧大町小学校庁舎は改築しても使い勝手のよい建物になるのかどうかという疑問はある。前に別の委員も言っていたが、現在は人が集まる、ある程度の規模の庁舎は必要だと思う。ただ、現代は私たちが想像する以上にデジタル化が進行している。果たして、50年後にそれだけ大きな規模の庁舎が必要なのか。前回は、市庁舎を新築するという方針のもと現在地がベストだと申し上げたが、本当にそれでよかったのかと考えている。

<u>会</u> 現在の気持ちを率直に発言いただいた。ほとんどのことは、前回までの会議録を見ればご理解いただけるものと考えているが、事務局からもう一度ご発言願えないか。

事務局 旧大町小学校跡地については、庁内検討会議において検討してきた。整備にあたっては、事前に埋蔵文化財の発掘調査が必要になり、事業期間の見通しが立たないこと、発掘調査に費用を要すること、またそもそも建設が可能かどうかという段階から検討しなくてはならないことから、早期実現性に劣るとの結論で整備候補地から除外した次第である。財源について、予算発表でもお示ししたが、令和3年度の決算で黒字が確保され、基金にかなりの額を積み立てることができる見通しである。来年度以降も、健全な財政運営を図りながら少しずつ積み立てていく必要があるが、現時点では70億円という見通しで進めているところである。事業費については、庁舎の適正規模についても考えたうえで来年度以降も精査していきたい。現状では、現在地での建て替えという方向で進めたいと考えている。

▼ 員 前の委員に同意する。委員が言いたかったのは、旧大町小学校の跡地に建てるというよりは、本当に新築するのがベストなのかという意味だろう。使用されていない建物も多くある中、約10年の歳月をかけて新たな庁舎を建てることは適切なのか。例えば東京オリンピックでは、当初はコンパクトな大会を打ち出していたが、実際はそうならなかったという意見がある。現在もある程度充実した建物があるのに、お金をかけて立派なものを建てる必要はないのではないか。提案だが、新築ではなく現庁舎の改築はできないのか。また、新築以外の方法はどこまで検討したのか。例えば、氷見市では体育館を改築したという事例がある。新築よりも改築のほうが、SDGsの理念にも合致するのではないか。70億円という事業費も、今後人口が減少し、資材費も高騰していけば、負担が膨れ上がる可能性がある。現段階での予算は30~40億円としておき、「最大でも70億円」というふうにしておかなければ、富山市の武道館と同じ道を歩むのではないか。現段階で事業費を下げておく必要があると感じる。

副市長 まず、新築ではなく改築できないのかという意見について、改築はできるが、高額になるということも想定される。また、現庁舎は骨組みが相当古く、改築しても近い将来また改築が必要になることも想定される。よって、現庁舎を改築するという方法は難しいものと考えている。魚津市は、これまでに小学校等の改築で費用が高額になったという経験もしており、むしろ新築するほうが事業費を抑えられるものと考えている。事業費の高騰については、市も懸念しているところである。市としては、事業費が高騰しないような設計を行ってまいりたい。適正規模や機能を十分に検討し、必要最低限なものを建設するという考えで、なるべく70億円という予算の上限を超えないように進めてまいりたい。

会 長 過去2回の委員会で、皆様の不安や懸念を払しょくできていなかった部分があり、申し訳なかった。本日の指摘については、これまでも指摘されてきたことが多い。過去の議事録には、事務局の見解が書かれており、改めて参照していただきたい。現在は、基本理念と基本方針及び整備場所について取りまとめ、報告書を提出するという段階である。検討報告書(案)は、これまでの委員の意見を反映し、即したものとなっており、ここまでは皆様に承認していただいたものと考えている。理解を深めるために議論の後戻りをすることは構わないが、市長への報告書は、これまでの議論の大枠について取りまとめたものである。全てに賛成されないことも理解するが、基本的にはこれまでの議論で承認された内容の報告書であるということを承知していただきたい。

委員前回は、個々の意見はあったものの、全体の方針ということで同意した。今回、改めて意見を聞かれたので、また個々の意見を述べたまでである。決まっているというのならば、最初から意見を聞かなければいい。改めて意見を聞かれたので、述べさせてもらう。前回、候補地の選定で、最初から2つの候補地が提示されていた。その前に、我々でいくつかの候補地を挙げたかった。他の候補地について述べたところ、門前払いのような形だった。整備場所については、もっと大きな視野で検討したかった。現在地のメリットが大きいという説明で、前回は同意した。しかし、ここは検討委員会なのだから、例えば旧大町小学校、旧村木小学校、カーバイド工場跡地、駅舎との複合化、吉田グラウンド、それぞれの候補地について議論を深めたかった。前回は、議論が深められなかったが渋々了解した。繰り返すが、決まっているのなら最初から意見を聞かなければいい。

▼ 員 私は、新庁舎の新築については賛成している。もちろん、建築までの数年に起こるコストの変化、市町村の構成の変化に柔軟に対応してもらいたいというのが大前提である。先程から、再度新築について議論したほうがいいという意見が出ている。会長の言われるとおり、議論としては後戻りすることになる。しかし、市民の代表が参加している検討委員会の意義について考えてもらいたい。意見とは、外部の変化に対応して往々にして変化するものである。円滑な運営にならず、困るのかもしれないが、魚津市にとって一世一代のプロジェクトであり、場合によっては一度後戻りするプロセスがあっても意義のあることだと思うし、それでこそ市民が議論に参加したということになるだろう。仮に明日、市長に報告するとしても、今日出たような意見があったことも踏まえ、報告書は報告書、意見は意見ということで含みを持たせてもらいたい。もう一つ、報告書(案)に意見を申し上げる。2ページの基本理念、3行目にある「本市への誇りと愛着を育む」という表現は不自然である。「本市」という自治体があるのかと一瞬思ってしまう。この表現は、「本市」を「魚津市」と明記するほうが、より愛着の強まった理念になるのではないか。

<u>会</u> 長 始めから、報告ありきの日程を申し上げてしまったこと、また、前回の会議から時間が経過しており、様々なご心配も募る中で、今回の意見を頂戴したものと思っている。そ

こで提案だが、市長への報告書は今回の(案)で取りまとめるが、次年度以降、具体的な議論が深められる中で、報告書の内容が一部修正になることもある、という認識でご承認いただくことはできないか。

| 委 員 報告書で、後で修正されるかもしれないという体裁は考えられない。

|会 長 報告書の内容は、細かい修正を除いては変更されない。基本理念と基本方針及び整備場所について取りまとめた報告書であり、この報告書をもとに来年度以降の計画が進められていく。報告書の内容を、再び検討委員会に差し戻して議論するということは考え難い。

**委員場所を変えてもいいという前提では議論できないのか。** 

<u>副市長</u> 報告書(案)のとおり承認いただきたいと考えていたが、本日の議論を踏まえ、報告の際には委員の意見を口頭または書面で補足するという形式を取らせていただきたい。建設候補地については、次年度以降の事業が控えていること、また候補地が変わればこれまでの議論が根本的に変わることから、基本的には現在取りまとめた(案)のとおりご承諾いただきたい。事務局としても、様々な候補地を検討したが、制約があり難しかったという経過があり、どうかご理解いただきたい。

会 長 基本理念や基本方針、整備場所については委員会としてご了承いただいたと考えており、それを前提に資料が作られている。ただ、そこも含めて白紙検討もありうるというご意見をいただいた。そういった意見を載せた議事録を添えて報告書を提出すればどうか。今後、計画の具体化に伴って、貴重なご意見をたくさんいただけると思う。それに伴い、市長への報告書の中で提案した内容を見直した方がいいといった意見も出てくる可能性もあると考えている。

<u>愛</u>員 候補地選定の際、第2回会議でいきなり二者択一に絞り込まれていたが、場所はもっと議論すべきだった。2月に報告書を提出するというスケジュールに持っていこうという進め方だったと受け止めている。現在地のほか、旧大町小学校や、旧村木小学校、魚津駅、旧総合体育館の周辺なども考えられたと思うが、議論しなかった。第2回会議の進め方は不満であった。

<u>副市長</u>場所の選定について広く検討しなかったのではないかとのご意見だが、市とすれば様々な場所を検討してきた中で、整備のしやすさや、駅周辺の活性化の面などの利点を考慮し最終的に市有地2か所を選定した。1か所1か所は検討してきたものの、皆様への説明が足りなかったことは大変申し訳なく思っている。他の場所での整備はなかなか難しく、すぐには実現しないことも踏まえ今回の結論になっていることをご了解いただきたい。ご意見はあると思うが、議事録として報告に添えることとさせていただきたい。

委 <u>員</u> これだけ皆さんが意見を述べている中、候補地の再検討のプロセスに戻るというのは難しいのか。

会 長 報告書案のP7にもあるが、他の整備候補地として「旧魚津市総合体育館及び吉田グラウンド」、「大町小学校跡地」、「駅前地域での都市開発」、「駅との複合化」を事務局から説明した際に、メリットやデメリットについて報告していただいている、それを簡単に資料

1の中では書いてあるが、実際には会議で具体的に示していただいていた。事務局側から説明が不十分との発言があったが、私はむしろ委員の一人ひとりの理解や認識の度合いを確認しながら進行していかなかったことを反省している。検討のやり直しは根拠がはっきりすればあり得るが、第1回・第2回会議で了承いただいた内容に基づいて第3回会議の報告書案が作られている。先に申した通り、皆さんの今日のご意見は議事録に記録することとし、報告書の中身についてはまとめられた内容で進めていただけないか。

<u>季</u> <u>員</u> 反対である。根拠があれば議題を戻すのもあり得るとのことだが、皆さんのご意見こそ根拠ではないか。委員の理解の度合いが異なっていたことが、今回意見として表れている。進行優先で、この報告書(案)でもってよしとすると、我々委員の今後の参加に対するモチベーションはどのようになるとお考えか。

会 長 私が根拠と申し上げたのは、報告書(案)の7ページにも記載のある事務局からの報告に対して、不十分な説明でとても納得できるものではない、整備用地についてはもう一回議論をしてほしい、というご意見については、その根拠がしっかりしていないのではないかということである。例えば、報告書(案)には他の候補地が簡単に記載されているが、もっと具体的に納得いただけるように書いたほうがいいということか。

委 員 例えば次回もう一度、候補地の検討会議などの場づくりをしたとしても、おそらく一致しないと思う。しかし候補地の再検討や意見を第3回会議の場で揉んでみるということによって、この次以降の会議の質が高まるという思いで発言している。

会 長 結局のところ、候補地に関して事務局側が2か所を示したというのは正しい理解ではなく、先ほど申したようにいくつか実際に検討していただき、基準を設けてどこがいいのかを考えていただいた。その基準については皆さんにも納得いただいたと思うが、良いと考えられるもの2つだけに絞った。それがどうして2つに絞ったのか、もっと詳しく説明してほしいというご意見だと思う。整備用地の選定の際の要件に従っていくつもある候補地を2つに絞った、2つの中でさらに精査した、その結果みなさんに原案をご承認いただいたのが前回までの流れだと思っているが、それでもやはりもっと時間をかけて検討しなおしたほうがいいというお考えか。

**委** 員 報道陣に退出してもらえないか。

(報道陣 退室)

て仕方がないので同意した。現在地ありきの進め方のように最初から受け取っている。今回 意見を求められたので、報告書提出で致し方ないとは思うが、議論した方がいいと思い発言 した。

会 長 はじめから旧総合体育館や旧大町小学校など報告書に記載のあるところを含めて全部を土俵にあげてその中から選んでいく、という組み立て方をしなかったのは効率を考えてなのか、事務局いかがか。

副市長 他の候補地はスケジュールや予算を考慮すると難しいと判断し案から外したが、内部だけで判断せず皆さんと一緒に議論すればよかったと思っており、その点についてはお詫びしたい。もし、どういう検討をしたか聞きたいということであればお答えするのは十分可能である。ただ、皆さんにこれまで忙しい中集まっていただき、いろいろ決めてきたということもあるので、ぜひ明日には報告書を出していただきたいと思っている。整備場所について、どうしてもここの方がいいというご意見などあればお聞かせいただき、お答えしたいと思うがいかがか。

委員 スケジュールを見ていると、整備場所は重要なのにもかかわらず、スケジュールがすごくタイトである。重要なことなのにこのようにタイトでいいのか。他方、基本構想・基本計画は2年かけている。整備場所について我々は納得していないとすれば、検討を来年度以降に持っていけないか。もう一度検討の場を設けるのも難しいのか。あるいは候補地選定の検討資料を見せていただくことはできないか。

副市長 皆さんの意に反して報告書を提出いただいても意味がないので、もう一度検討した ほうがいいという意見が多いのであれば、再度検討した上で報告書提出もできないわけでは ない。市とすれば新築でお願いしていきたいというのはある程度決まっている。場所につい てもう少し検討すればいいのではないかというご意見だが、この会議で議論してもいいし、 もう一回検討すべきという意見が多いのであればそのように検討したい。

会 長 委員ご発言の内容の中に、委員会は何のための委員会なのかといったご意見があったと思うが、その辺に対する回答は副市長のご発言から受け取っていただけたか。

(委員 了承)

会 長 これからも本音でご議論いただければこの委員会も存在価値がさらに高まると思う。 他の委員の方々についてもぜひお願いしたい。 <u>副市長</u> この委員会の意義という話もあったが、今後どのような庁舎を建てていくか、機能 やデザイン等を委員会に諮っていく予定になっている、その点においても皆様の意見を反映 していきたい。また、色々な意見を吸い上げる委員会となるよう努めていきたい。

会 長 市長へ提出する報告書の原案について、大方原案通りご承認いただけるか。 (委員一同 了承)

委員 基本理念の、「本市への誇りと愛着を育む」という一文は、どういう意味合いか。 事務局 基本方針 1 で、「一人ひとりが利用しやすく、親しみやすく開かれた庁舎」としているが、こういったことを誇りと愛着につなげている。点線枠で示している委員のご意見を聞いた上で「魚津市への誇りと愛着を育む」という言葉にしているのでご理解願いたい。

会 長 いま承認いただいた報告書案については、どうして場所を現庁舎及び市役所前公園 敷地に選定したのか、もう少し詳しく分かる方がよい。今後具体的に検討いただくうえでお おもとになる、共通理解のしっかり持てる報告書となるよう再度ご検討いただきたい。

<u>委</u> <u>員</u> 結局この案で報告するのか。副市長は場合によっては結論がどうなろうと候補地の情報共有、意見交換の場を設けられてもよいとおっしゃったが。

<u>会</u> 長 委員の皆様の総意がそうであれば、議論を戻すというのも提案された。ただ皆さん には原案で承認いただいたと進行役は理解している。

<u>委</u> <u>員</u> 場所決めについて意見が多岐にわたっている。もう一度場所についての認識を共有する、意見交換をする場を設けていただいた方がこのあとの検討がスムーズに進むと思う。

**委員 候補地選定の資料を送っていただけないか。** 

副市長 総合的に判断して決めた理由を記載したものをお送りしたいと思う。

**|委 員 旧総合体育館はなぜ候補から外れたのか。** 

副市長 市で決めている立地適正化区域外であったのが1点。市としては駅周辺活性化計画など過去からの計画との整合性を含めて立地適正化計画を策定した。それともう1点は富山県警の統合庁舎の候補地として打診したこともある。そのようなことを併せて難しいという話になった。

会 長 報告書(案)はほぼ原案で認めていただいたということで、もう一度確認したい。 (委員 了承)

会 長 報道にはもう入室いただいてよいと思うが。

(報道陣 入室)

(以下、主として資料No.2に関連した質疑、意見等)

<u>季</u> <u>員</u> アスベスト調査は今から行うのか。アスベストの含有は分かっているのではないか。 事務局 この年代に建てたものに石綿が含まれているという想定はできるが、どういった部 材に含まれているかの調査となる。解体の際にどういう処理をするのかを検討しながら進め ていくので、重要な資料となる。

委 員 予算というのは事業者に見積を取っての予算か。

事務局 そのとおりである。

<u>委</u> <u>員</u> 今後建設の主要な項目は見積を取りながら予算建てをし、大きなものは入札をしながら進めていくことになるのか。

事務局 そのとおりである。

会 長 この委員会の意義について問うご発言を受けて思ったことだが、何のための市役所 かという認識を行政がしっかりと持っていただき、納得していただける根拠を示すことがで きるよう、委員やその他市民の立場になって、準備していただけるようお願いしたい。

以上